

平成29年度決算
一般・特別会計
決算特別委員会資料
企画管理部

- 1 企画管理部決算状況調べ(一般会計) 1頁
- 2 平成28年度決算 一般・特別会計決算特別委員会の
意見・要望・指摘事項に対する処置状況 3頁
- 3 平成28年度決算 監査委員の意見に対する回答状況 4頁

区 分 (款 項 目)	予 算 現 額 A 円	決 算 額 B 円	翌年度繰越額 C 円	執行率 (B+C)/A %
(款) 2 総務費	8,850,788,000	8,641,192,559	0	97.6%
(項) 1 総務管理費	4,250,227,000	4,178,842,630	0	98.3%
(目) 1 一般管理費	3,898,590,000	3,846,208,513	0	98.7%
(目) 2 人事管理費	149,066,000	141,701,906	0	95.1%
(目) 3 広報広聴費	124,244,000	121,246,224	0	97.6%
(目) 4 文書費	31,063,000	26,416,011	0	85.0%
(目) 9 公平委員会費	983,000	970,360	0	98.7%
(目) 10 恩給及び退職年金費	11,012,000	10,131,051	0	92.0%
(目) 11 国際親善費	35,269,000	32,168,565	0	91.2%
(項) 2 企画費	4,538,998,000	4,402,583,649	0	97.0%
(目) 1 企画総務費	420,360,000	413,487,251	0	98.4%
(目) 2 企画調査費	245,475,000	228,701,252	0	93.2%
(目) 3 文化振興費	1,853,114,000	1,803,295,464	0	97.3%
(目) 4 文化施設費	101,944,000	100,764,916	0	98.8%
(目) 5 情報管理費	982,514,000	950,395,046	0	96.7%
(目) 6 外国語専門学校費	270,975,000	268,194,259	0	99.0%
(目) 7 ガラス造形研究所費	152,955,000	149,403,452	0	97.7%
(目) 8 ガラス美術館費	511,661,000	488,342,009	0	95.4%
(項) 6 統計調査費	46,838,000	45,629,080	0	97.4%
(目) 1 統計調査総務費	27,136,000	26,593,341	0	98.0%
(目) 2 統計調査費	19,702,000	19,035,739	0	96.6%
(項) 7 監査委員費	14,725,000	14,137,200	0	96.0%
(目) 1 監査委員費	14,725,000	14,137,200	0	96.0%

不用額 A-B-C 円	不用額の主なもの	備考
209,595,441		
71,384,370		
52,381,487	【総務一般管理費（職員課）】退職手当：51,285,715円	
7,364,094	【職員研修費（職員研修所）】旅費：3,085,382円	
2,997,776	【広報費（広報課）】印刷製本費：1,688,425円	
4,646,989	【文書管理費（行政管理課）】委託料：3,724,608円	
12,640		
880,949		
3,100,435		
136,414,351		
6,872,749	【企画一般管理費（企画調整課）】委託料：3,999,040円	
16,773,748	【統合小学校跡地等活用事業費（企画調整課）】委託料 5,966,600円 【行政改革推進費（行政管理課）】委託料：1,200,000円 【官民連携推進事業費（行政管理課）】委託料：3,927,955円	
49,818,536	【富山ガラス工房事業費（企画調整課）】補助金：4,346,446円 【文化振興事業費（文化国際課）】委託料：29,540,897円 補助金：4,744,005円 【文化施設整備事業費（文化国際課）】委託料：6,952,200円 工事請負費 1,545,600円	
1,179,084		
32,118,954	【情報管理事務費（情報統計課）】委託料：21,663,218円	
2,780,741		
3,551,548		
23,318,991	【管理運営事務費（ガラス美術館）】委託料：7,210,589円 【作品収集保存事業費（ガラス美術館）】委託料：1,102,571円 【展覧会開催事業費（ガラス美術館）】報償金：1,345,737円 手数料：1,466,379円 委託料：4,471,814円 【「富山ガラス大賞展2018」開催事業費（ガラス美術館）】委託料：1,031,157円	
1,208,920		
542,659		
666,261		
587,800		
587,800		

様式2

平成28年度決算 一般・特別会計決算特別委員会の
意見・要望・指摘事項に対する処置状況

所 属	意見・要望・指摘事項	処 置 状 況
	該当なし	

平成28年度決算 監査委員の意見に対する回答状況

所 属	監査委員の意見	回答状況
<p>行政管理課</p>	<p>公共施設等の更新や維持管理にかかる経費を縮減し、社会情勢の変化に対応するため、既存の公共施設等の再編整備や適正配置、長寿命化を進めるとともに、今後建設する施設においても、建設段階から将来的な大規模修繕や維持管理にかかる経費も視野に入れたアクションプランの策定を検討されたい。</p>	<p>市では、公共施設等総合管理計画を長期的な基本方針として、20年後、30年後の将来市民にも責任が持てる持続可能な都市経営を確保していくため、戦略的にファシリティマネジメントに取り組んでいくこととしております。</p> <p>また、アクションプランにおいては、公共建築物の今後の再編を効果的に進めるための基本戦略を策定するとともに、施設ごとのコスト情報や利用状況、老朽化度などを分析・評価し、短期的に見直しを行うべき施設を抽出した上で、それらの施設の実効性ある具体的見直し方針を示しております。</p> <p>今後、公共施設等を整備する際には、必要な機能は維持しつつ財政負担の軽減を図るため、施設の複合化や、集約化等を進めるとともに、これまでの行政の考え方にとらわれることなく、民間事業者の資金やノウハウを最大限に活用するため、PPP・PFIといった官民連携事業手法の導入を優先的に検討してまいりたいと考えております。</p> <p>さらに、公共施設の保全につきましても、これまで、施設の多くは、異常が明らかになった段階で事後的に対処してまいりましたが、今後は、施設の安全性の確保や維持管理に係る財政負担の縮減及び平準化を図る観点から、予防保全の考え方を取り入れた施設の長寿命化計画に基づき保全を行っていくことが重要であると考えており、今後、各施設の点検や劣化診断の結果などの情報を一元管理し、長寿命化によるライフサイクルコストのシミュレーションなどを行うシステムを整備し、このシステムを活用しながら、各所管部局において、個々の施設の用途や老朽化度等に応じた長寿命化計画を策定し、効率的で計画的な施設の保全を進めてまいりたいと考えております。</p>

平成28年度決算 監査委員の意見に対する回答状況

所 属	監査委員の意見	回答状況
<p>行政管理課</p>	<p>今後導入が予定されている地方公会計制度において、固定資産台帳については公共施設等の老朽化対策等にも活用可能であるなど、関わりがあることから、関係所属との連携を密にし、アクションプランの更新に努められたい。</p>	<p>ご指摘の固定資産台帳は、品目ごとに取得価額や償却額、償却後の帳簿残高などの要素が備わっており、保有する全ての資産を網羅的に把握できるとされており、この情報は、公共施設の効率的なマネジメントや公有財産の有効利用等への活用が期待されております。</p> <p>また、具体的な活用方法につきましては、</p> <p>①公共施設等の維持管理・修繕・更新等に係る中長期的な経費の見込みを算出すること等により、公共施設等総合管理計画やアクションプランを充実・精緻化すること</p> <p>②予算の要求や査定において、施設類型毎の経年状況等を比較・分析し、公共施設の老朽化対策等についてメリハリのある予算編成を行うこと</p> <p>③公共施設の情報を公開することにより、民間事業者によるPPP/PFIに関する積極的な提案を促進すること等が考えられます。</p> <p>また、その際には、固定資産台帳が適切に更新されるとともに、民間事業者にとって必要な情報が公開されることなどが必要となってきますので、固定資産台帳の事務を所掌する管財課を含め関係各課と連携を密にし、情報の共有化を図っていきたいと考えております。</p> <p>こうしたことを踏まえ、今後、アクションプランの更新及び進捗管理の段階での固定資産台帳の活用については、国や先進自治体の動向を見極めながら、随時、検討したいと考えております。</p>